

前回までの櫛引地域振興懇談会での検討事項の対応について(主なもの)

No.	主な意見	対応状況
1	農業の担い手問題が深刻である	農業の担い手問題は、全国的な課題であることから、令和5年4月に「農業経営基盤強化促進法」が改正され、各市町村が令和7年3月までに「地域計画」を策定することが求められております。この計画は、将来を見据えた農業と農業者の10年後のあるべき姿を現実にするために作るもので、地域での話し合いが重要であることから、現在それらの作業を進めております。 また、櫛引地域の特色である果樹生産に関しては、地域計画に加え、「果樹生産者実態把握調査」を令和5年度から7年度までの3年間でを行い、それをもとに聞き取りや分析、関係者による意見交換会などを実施し、円滑な園地継承対策を講じて行きたいと考えます。
2	夏のイベントをぜひ実施してほしい	出羽商工会櫛引支所、庄内たがわ農業協同組合櫛引支所、そして櫛引観光協会をはじめとする関係者のご尽力により、令和6年7月27日（土）に櫛引生涯学習センターで「くしびき夏まつり2024」が開催され、子供から大人まで楽しむことができる世代間や地域間の交流イベントとなり、地域連帯感の醸成が図られていました。 鶴岡市としては、今後も関係各位と連携しながら継続していきたいと考えております。
3	六十里越街道の草刈りは南部エリア事業予算で出来ないか	地域まちづくり未来事業の一環として櫛引地域、朝日地域、黄金地区などの鶴岡市南部エリアでの広域観光を検討しているところであり、「六十里越街道」についても重要な観光資源と捉えております。 そのため、今年度に観光資源調査の一環として、櫛引庁舎の職員が六十里越街道の櫛引エリア部分を草刈り作業したところ、櫛引観光協会からもご協力いただき感謝申し上げます。今後、南部エリアの広域観光事業を進める中で、草刈り作業を外注することの効果や、草刈り作業自体をイベントの一部として実施できないかなどといったことも検討していききたいと存じます。
4	赤川かわまちづくりの整備について地元住民にも周知してほしい	定期的に「赤川かわまちづくり事業ワークショップ」を開催する中で、関係者の皆様へ丁寧に説明し、ご意見を伺いながら進めていきたいと考えておりますし、ご要望があれば、住民の皆様にもご説明に上がりたいと思います。 なお、今年度は「馬渡桜づつみ樹木調査」を予定しており、更新計画の作成について地元の皆様へ相談させていただく予定です。
5	コミュニティの検討は櫛引地域で避けられない問題であり、具体的に検討し話し合っていく機会を作してほしい	地域の事情を踏まえ、人との繋がりや助け合いを継続していけるコミュニティ像を考えるために「櫛引地域コミュニティ検討ワークショップ」を開催しています。また櫛引中学校生徒へのアンケートも実施し、その概要については、昨年度第4回地域振興懇談会でお知らせしたところであります。 今年度に入り、6月にも「今後の櫛引地域コミュニティのありたい姿を考える」と題したワークショップを開催し、各地区の課題洗い出しを中心にした話し合いを行いました。 櫛引地域に合ったコミュニティ支援のあり方を改めて探るために、現在、地区実態調査（アンケート）を各地区にお願いしています。これらも基にしながら、さらに10月にも住民ワークショップを開催する予定で進めています。